

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド (ユーロコース/米ドルコース/豪ドルコース/資源国通貨コース/ メキシコペソコース/トルコリラコース/円コース) (追加型投信/海外/債券)

販売用資料



2022年8月の決算における分配金額について

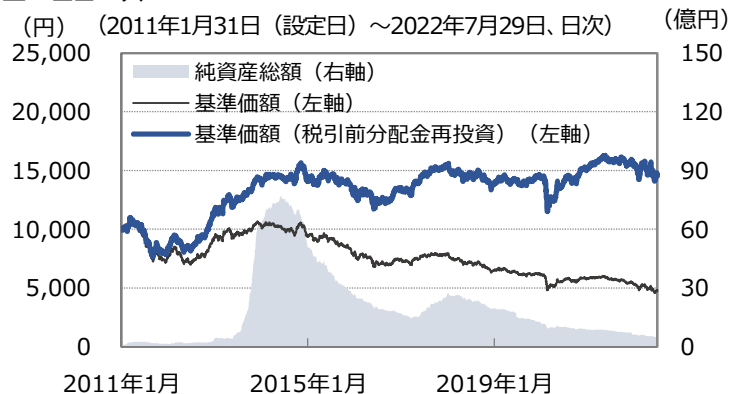
2022年8月8日

平素より「アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース/米ドルコース/豪ドルコース/資源国通貨コース/メキシコペソコース/トルコリラコース/円コース）」（以下、各ファンド）をご愛顧賜りまして、誠にありがとうございます。この度、各ファンドは2022年8月の決算におきまして、以下の通り分配金額の変更を行いましたのでご報告申し上げます。今回の見直しは、基準価額の水準や市況動向等を総合的に勘案した結果によるものです。今後とも各ファンドの運用にあたっては、パフォーマンスの向上を目指してまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【設定来の基準価額と純資産総額の推移※】

※ 分配金額、分配実績はいずれも1万口当たり、税引前。基準価額、純資産総額は2022年8月8日現在。

ユーロコース



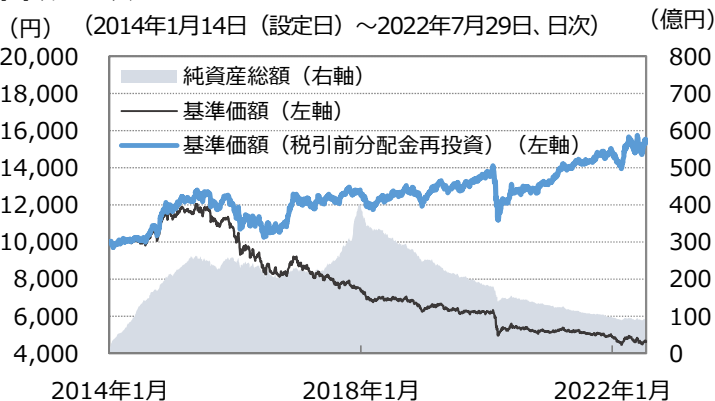
決算期	分配金額	基準価額 (分配落ち後)
第139期 (2022年8月8日)	25円 (前期：50円)	4,789円

純資産総額	設定日	信託期間
約5.1億円	2011年1月31日	2026年4月8日まで

【過去の分配実績】

2022/5/9	2022/6/8	2022/7/8	設定来累計
50円	50円	50円	8,530円

米ドルコース



決算期	分配金額	基準価額 (分配落ち後)
第103期 (2022年8月8日)	35円 (前期：70円)	4,674円

純資産総額	設定日	信託期間
約93.8億円	2014年1月14日	2026年4月8日まで

【過去の分配実績】

2022/5/9	2022/6/8	2022/7/8	設定来累計
70円	70円	70円	8,610円

豪ドルコース



決算期	分配金額	基準価額 (分配落ち後)
第130期 (2022年8月8日)	20円 (前期：40円)	2,886円

純資産総額	設定日	信託期間
約196.6億円	2011年10月27日	2026年4月8日まで

【過去の分配実績】

2022/5/9	2022/6/8	2022/7/8	設定来累計
40円	40円	40円	13,050円

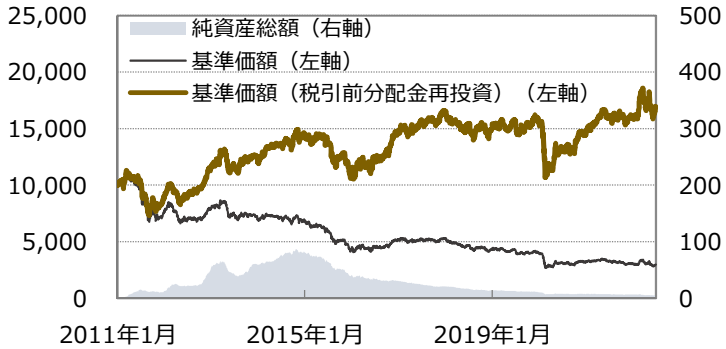
基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

当資料は、過去のデータに基づくものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

7～11ページに記載の「投資リスク」「当資料のお取扱いについてのご注意」「お申込みメモ」「ファンドの費用」等を必ずご確認ください。

資源国通貨コース

(円) (2011年1月31日(設定日)～2022年7月29日、日次) (億円)



決算期	分配金額	基準価額 (分配落ち後)
第139期 (2022年8月8日)	20円 (前期: 40円)	2,995円

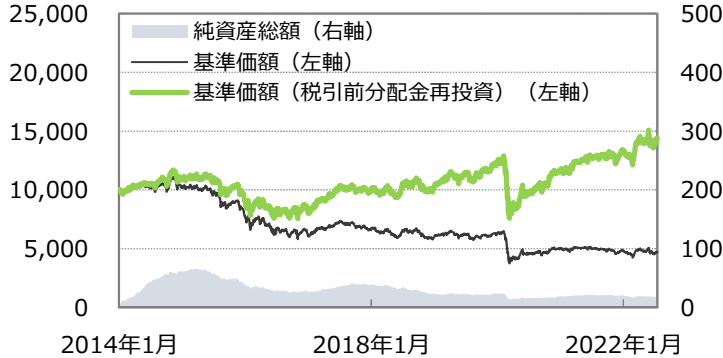
純資産総額	設定日	信託期間
約5.4億円	2011年1月31日	2026年4月8日まで

【過去の分配実績】

2022/5/9	2022/6/8	2022/7/8	設定来累計
40円	40円	40円	9,935円

メキシコペソコース

(円) (2014年1月14日(設定日)～2022年7月29日、日次) (億円)



決算期	分配金額	基準価額 (分配落ち後)
第103期 (2022年8月8日)	40円 (前期: 70円)	4,757円

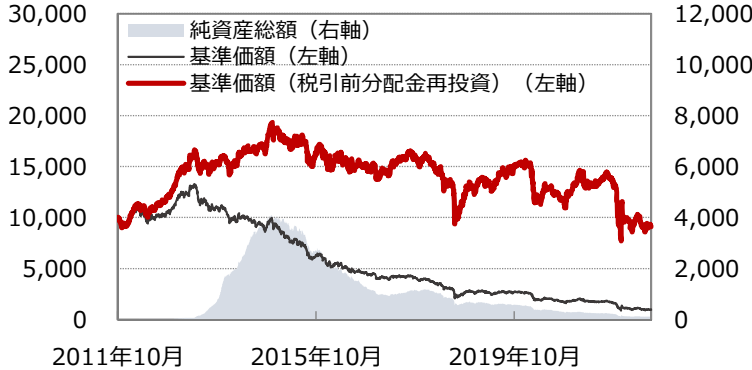
純資産総額	設定日	信託期間
約18.9億円	2014年1月14日	2026年4月8日まで

【過去の分配実績】

2022/5/9	2022/6/8	2022/7/8	設定来累計
70円	70円	70円	7,000円

トルコリラコース

(円) (2011年10月27日(設定日)～2022年7月29日、日次) (億円)



決算期	分配金額	基準価額 (分配落ち後)
第130期 (2022年8月8日)	5円 (前期: 15円)	996円

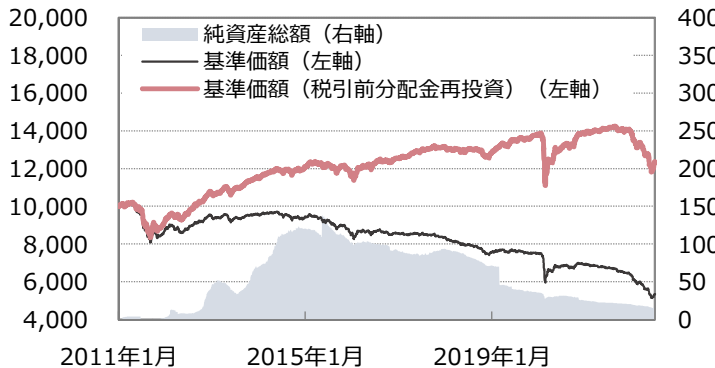
純資産総額	設定日	信託期間
約111.5億円	2011年10月27日	2026年4月8日まで

【過去の分配実績】

2022/5/9	2022/6/8	2022/7/8	設定来累計
15円	15円	15円	13,205円

円コース

(円) (2011年1月31日(設定日)～2022年7月29日、日次) (億円)



決算期	分配金額	基準価額 (分配落ち後)
第139期 (2022年8月8日)	25円 (前期: 50円)	5,403円

純資産総額	設定日	信託期間
約15.9億円	2011年1月31日	2026年4月8日まで

【過去の分配実績】

2022/5/9	2022/6/8	2022/7/8	設定来累計
50円	50円	50円	6,800円

基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

当資料は、過去のデータに基づくものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

7～11ページに記載の「投資リスク」「当資料のお取扱いについてのご注意」「お申込みメモ」「ファンドの費用」等を必ずご確認ください。

分配金額を引き下げた背景について（2022年6月末現在）

- 2022年初以降、世界各国での金利上昇傾向を受けて、欧州ハイイールド債市場も下落基調となりました。各国の金融政策のスタンスの違いやコモディティ価格等を反映し、為替市場の動きはまちまちであるものの、ECB（欧州中央銀行）が今後の利上げを示唆するなど、欧州ハイイールド債市場にはマイナスの影響が懸念されます。
- このような市場環境から、先行き不透明感が強いと判断し、金融引き締め姿勢の継続の可能性等も総合的に勘案し、各ファンドの分配金額の引き下げを決定いたしました。

各ファンドの分配金額は分配方針に基づき、主に下記3つを勘案し、決定されます。

①基準価額の水準、②欧州ハイイールド債の利回りと為替取引によるプレミアムなどの市況動向、③分配対象額の状況等

各ファンドのそれぞれの状況は以下の通りです。

① 基準価額の水準

2022年初以降、世界各国でインフレ懸念を背景として金利水準は上昇傾向となりました。ECBも今後の利上げについてタカ派的な姿勢に転じており、欧州ハイイールド債市場は下落基調となっています。各国の金融政策のスタンスの違いやコモディティ価格等を反映し、為替市場の動きがまちまちであることから、各ファンドの基準価額もばらつきが見られますが、欧州ハイイールド債券市場の先行き不透明感により、各ファンドの基準価額にマイナスの影響が懸念されます。

	基準価額 (2022年7月29日)	基準価額 (2022年1月31日)	分配金累計額※ (1万口当たり/税引前)	騰落率※
ユーロコース	4,717円	5,290円	300円	-10.8%
米ドルコース	4,621円	4,838円	420円	-4.5%
豪ドルコース	2,887円	3,006円	240円	-4.0%
資源国通貨コース	2,977円	3,026円	240円	-1.6%
メキシコペソコース	4,731円	4,673円	420円	+1.2%
トルコリラコース	961円	1,136円	90円	-15.4%
円コース	5,354円	6,307円	300円	-15.1%

※分配金累計額、騰落率の期間は2022年1月31日～7月29日、騰落率は各コースの期間中の分配落ちを含む。

② 欧州ハイイールド債の利回りと為替取引によるプレミアムなどの市況動向

毎月の分配金額については、商品性を保ちながら長期的に運用していくために、債券価格や為替変動などの市場要因等に過度に依存することなく、利子収入等からある程度確保することが望ましいと考えられます。

足元の欧州ハイイールド債の利回り※は、2022年1月末の3.6%から7月末の6.5%に上昇（価格は下落）しました。

※ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（ユーロベース）を使用。使用した指数の権利については9ページの<当資料で使用したデータについて>をご確認ください。

③ 分配対象額の状況等

各期の分配金は、期中の収益（欧州ハイイールド債の値上がり益や利子収入、各ファンドの取引対象通貨の対円での上昇ならびに為替取引によるプレミアム）に加えて、過去の収益の一部が分配対象額となります。

2022年6月期 (2022年6月8日現在)	分配対象額 (分配金支払い後)	2022年6月期 (2022年6月8日現在)	分配対象額 (分配金支払い後)
ユーロコース	2,755円	メキシコペソコース	481円
米ドルコース	2,903円	トルコリラコース	2,077円
豪ドルコース	3,384円	円コース	892円
資源国通貨コース	2,200円		

上記は1万口当たりの数値です。

上記分配金額、分配対象額は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。分配金額を決定する要因は、分配対象額のみではなく、基準価額の水準、外国籍投資信託の組入債券の利回りや価格の状況、各コースの為替取引によるプレミアム/コストの状況等を鑑みた上で、分配金額は決定されます。

当資料は、過去のデータに基づくものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

7～11ページに記載の「投資リスク」「当資料のお取扱いについてのご注意」「お申込みメモ」「ファンドの費用」等を必ずご確認ください。

欧州ハイイールド債市場と主要投資対象ファンドの運用状況

(アムンディ・アセットマネジメント 2022年6月末現在)

《市場環境：6月も債券市場に厳しい展開となり、国債利回りは上昇、クレジットスプレッドは拡大し、トータルリターンは大幅なマイナス》

6月は世界の成長率予想の下方修正や、さらにはリセッション（景気後退）懸念が相まって、市場では強いリスク回避の動きが起きました。米国では、インフレと金融引き締めの影響を反映し、6月のPMI（購買担当者景気指数）は製造業、サービス業ともに低下しました。ユーロ圏では、PMIが予想を下回る低下を記録した結果、消費者信頼感指数も大幅に低下し、2020年4月に近い水準に逆戻りしました。これらを背景に、FRB（米連邦準備理事会）やECB（欧州中央銀行）がインフレへの措置として、必要であれば金利を積極的に引き上げる意向を示しました。月半ば以降、長期金利は低下（債券価格は上昇）しましたが、月間を通しては長期金利は上昇（債券価格は下落）となりました。クレジットスプレッド（国債との利回り格差）はリスク回避の動きで大きく拡大し、欧州ハイイールド債市場のリターンは大幅なマイナスとなりました。

《運用状況》（ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンドおよびストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル）

当月の当ファンドのパフォーマンスは、代表的な指数であるICE BofA European Currency High Yield Constrained Indexを大幅に下回りました。これは主に、6月にアンダーパフォームした劣後金融債、いくつかの流動性の高いTMT（テレコム、メディア、テクノロジー）銘柄、ハイブリッド不動産債券へのエクスポージャーによるものでした。ポートフォリオでは、当ファンドのリスク水準は指数と同程度に維持しました。

今後の見通しと運用方針

*将来の市場環境の変動等により、下記運用方針が変更される場合があります。

(アムンディ・アセットマネジメント 2022年6月末現在)

世界の経済成長率悪化への懸念が、引き続き欧州ハイイールド債の重しとなると考えます。今年後半の企業の決算発表とともに、今後数週間の欧州のエネルギー価格の変化は綿密に監視すべき要因とみています。よって、当ファンドは短期的には慎重な見方を維持しています。それでも、足元のスプレッドの水準は2016年初めや2018年末よりも高水準であり、欧州ハイイールド債は中期的な投資という観点から魅力的であると考えています。

欧州ハイイールド債 パフォーマンスの推移（ユーロベース）

期間：2011年1月31日～2022年7月29日、日次



出所：ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。欧州ハイイールド債は、ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（ユーロベース）を使用。 指数の権利については9ページの＜当資料で使用したデータについて＞をご確認ください。

為替動向 (対円)

為替コメントは2022年6月末現在

【ユーロ】



ECB（欧州中央銀行）は、2022年6月の政策理事会で今後の利上げを示唆するなど、インフレに対する警戒感を示しています。フランスでの国民議会選挙の結果は与党連合が過半数割れとなったものの、ユーロ売りリスクは限定的でした。ロシアからのエネルギー供給懸念等による景気の先行き不透明感は残りますが、ECBではタカ派的な姿勢を崩しておらず、日本との金融政策の違いから対円ではユーロ相場は底堅く推移しています。

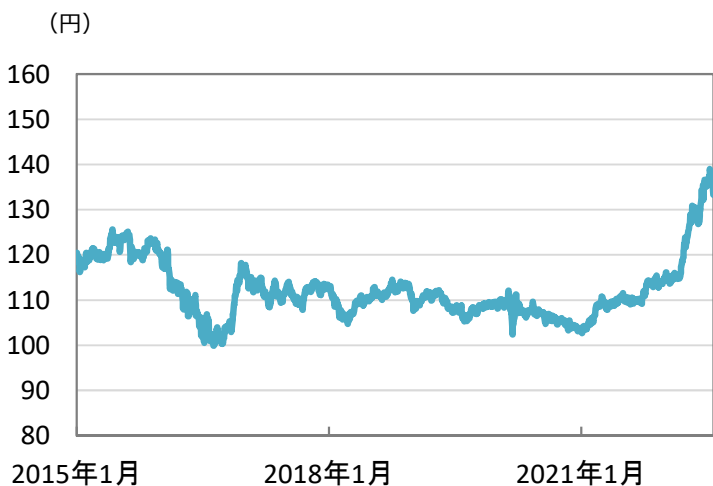
2022年7月29日現在の為替レート

1ユーロ = 136.23円

2022年1月31日～7月29日までの騰落率

+5.3%

【米ドル】



米ドル円相場は、2022年6月半ばには一時円高に振れる局面も見られましたが、6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）でも利上げが実施されるなど、インフレ抑制姿勢は継続しており、日米の金利差を背景に円安米ドル高傾向となりました。一方で米国の経済指標はやや弱含みのものが散見されるなど、方向性が定まらない可能性もあり、引き続き注視が必要な環境が続いています。

2022年7月29日現在の為替レート

1米ドル = 133.27円

2022年1月31日～7月29日までの騰落率

+15.8%

【豪ドル】



RBA（オーストラリア準備銀行）は、2022年6月にも政策金利の追加利上げを行うなど、金融引き締め姿勢を明確にしています。政策面では、インフレの進行に合わせ、7月以降の最低賃金引き上げが決定するなど、金融政策と経済政策が足並みを揃えた形となりました。ロシアからのエネルギー供給停滞を受け、鉄鉱石や石炭といった輸出品目の価格は相対的に高水準となっており、豪ドルにはプラスの要因と考えられます。

2022年7月29日現在の為替レート

1豪ドル = 93.10円

2022年1月31日～7月29日までの騰落率

+14.4%

グラフ期間：2015年1月1日～2022年7月29日、日次。
出所：ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

当資料は、過去のデータに基づくものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

7～11ページに記載の「投資リスク」「当資料のお取扱いについてのご注意」「お申込みメモ」「ファンドの費用」等を必ずご確認ください。

為替動向 (対円)

為替コメントは2022年6月末現在

【ブラジルレアル】



ブラジル国内では物価高騰への警戒感が強く、BCB（ブラジル中央銀行）は2022年6月にも利上げを行うなど、2021年3月以降の利上げ局面が継続しています。米国の利上げ加速見通しの中でもブラジルレアルは安定感のある動きとなっており、対日本円では上昇基調となりました。

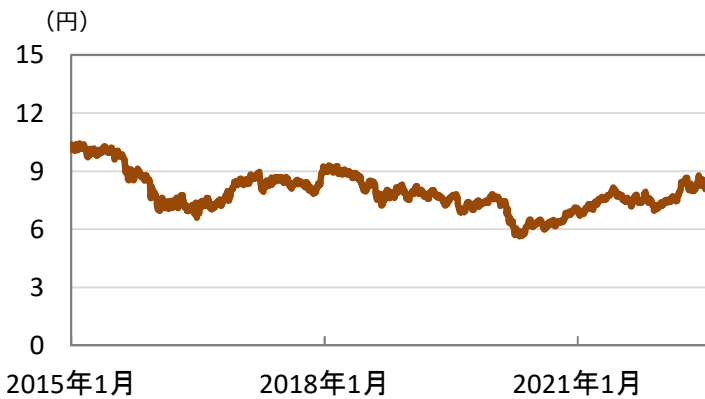
2022年7月29日現在の為替レート

1レアル = 25.76円

2022年1月31日～7月29日までの騰落率

+18.7%

【南アフリカランド】



南アフリカランドは対米ドルでは下落基調ですが、円安米ドル高を受けて対日本円では安定して推移しています。資源価格の上昇傾向や政策金利も上昇基調となる中、追加利上げを視野に入れた金融政策が見込まれることに加え、経常収支もプラスが続いていることから、南アフリカランドには追い風となっています。

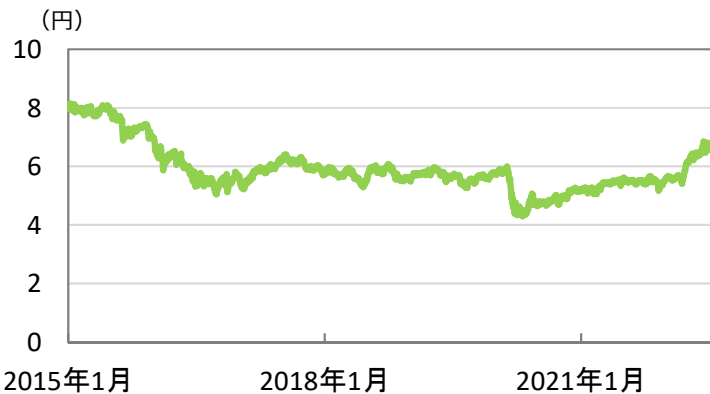
2022年7月29日現在の為替レート

1ランド = 8.01円

2022年1月31日～7月29日までの騰落率

+7.1%

【メキシコペソ】



メキシコ銀行（中央銀行）は、2022年6月にも政策金利を引き上げるなど、引き続きインフレ抑制を視野に入れた金融引き締め姿勢を見せています。メキシコペソは原油価格動向の影響を受けやすいものの、対米ドルでは安定感のある動きとなっており、対日本円では円安米ドル高を受けて上昇基調で推移しました。

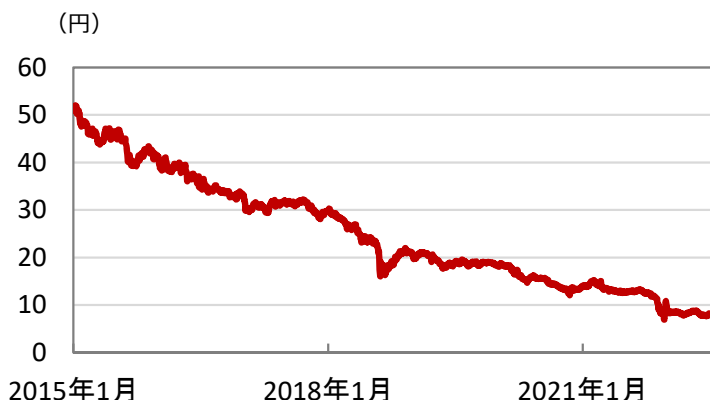
2022年7月29日現在の為替レート

1メキシコペソ = 6.54円

2022年1月31日～7月29日までの騰落率

+17.2%

【トルコリラ】



米国の利上げが続く中、トルコリラは、対米ドルでは下落基調となりましたが、円安米ドル高を背景に、対日本円での下落は抑制されています。しかしながら、エルドアン大統領の圧力により政策金利が据え置きとなっていることに加え、経常赤字の拡大やウクライナからの穀物輸入が停滞していることなど、トルコリラの上昇要因は乏しく、全般に弱含みとなっています。

2022年7月29日現在の為替レート

1トルコリラ = 7.43円

2022年1月31日～7月29日までの騰落率

-14.0%

グラフ期間：2015年1月1日～2022年7月29日、日次。
出所：ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

当資料は、過去のデータに基づくものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

7～11ページに記載の「投資リスク」「当資料のお取扱いについてのご注意」「お申込みメモ」「ファンドの費用」等を必ずご確認ください。

ファンドの目的

各ファンド（8つのコースを総称して「アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド」または「各ファンド」といいます）は、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- ① 各ファンドは、欧州のハイイールド債（高利回り債／投機的格付債）を実質的な主要投資対象とします。
 - ・各ファンドは、欧州のハイイールド債を主要投資対象とする外国籍投資信託「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド」または「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル」と、国内籍投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式^{*}で運用します。
 - ※ ファンド・オブ・ファンズとは複数の投資信託証券に投資する投資信託のことをいいます。
 - ・資源国通貨コースは、各外国籍投資信託の3つのシェアクラスに均等に投資を行います。
 - ・欧州のハイイールド債の運用は、アムンディ・アセットマネジメントが行います。
- ② 「アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド」は、投資する外国籍投資信託における為替取引が異なる8つのコースから構成されています。
 - ・米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、資源国通貨コース^{*}、メキシコペソコース、トルコリラコースでは、ユーロ売り／取引対象通貨買いの為替取引を行います。
 - ・円コースでは、為替変動リスクの低減を目的として、ユーロ売り／円買いの為替取引（対円での「為替ヘッジ」といいます）を行います。
 - ・ユーロコースでは、対円での為替ヘッジを行いません。
 - ※ 資源国通貨とは、原則として、代表的な資源国であるブラジル、オーストラリアおよび南アフリカの3カ国の通貨（ブラジルリアル、豪ドルおよび南アフリカランド）を均等に配分したものをいいます。実際には3つのシェアクラスに均等に投資することで実現します。
- ③ 各ファンドは、毎決算時（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日とします）に、原則として収益分配方針に基づき収益分配を行います。
 - ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。
 - ・分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。したがって、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
 - ・留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。◆

投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**各ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。各ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

各ファンドにおける基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、為替変動リスク、流動性リスク、信用リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、各ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご参照ください。

＜当資料のお取扱いについてのご注意＞

当資料は、「アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド」の商品内容説明資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当資料に記載したコメントは、将来を保証するものではなく、資料作成時点における当社の見解や予想であり、将来の経済・市場環境、政治情勢等の変化により予告なく変更することがあります。当資料に記載したデータは資料作成時点のものであり将来の傾向、数値等を示唆するものではありません。購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず商品内容、リスク等の詳細をご確認の上、ご自身のご判断でお申込みください。

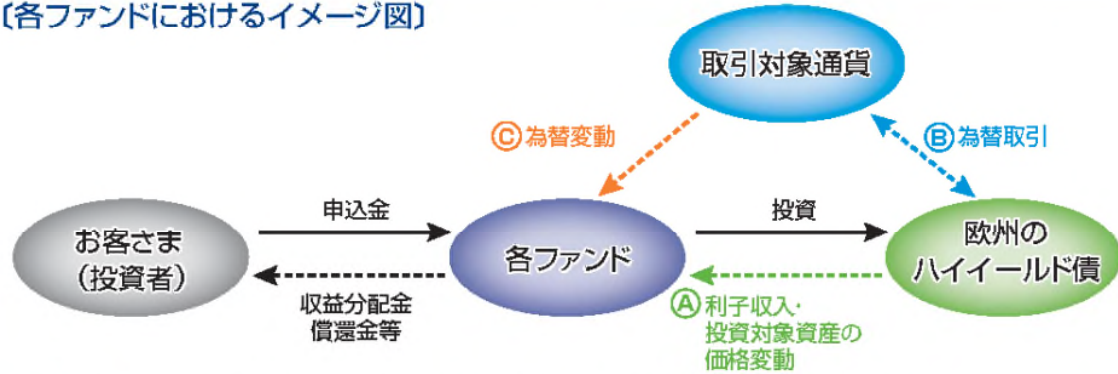
《投資信託ご購入時の注意点》

投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。
●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●銀行を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●投資信託の設定・運用は委託会社が行います（銀行、証券会社は販売の窓口となります）。●投資信託は値動きのある証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に投資するため、運用実績は市場環境等によって変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。●投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

〔通貨選択型投資信託の収益のイメージ〕

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などの投資対象資産への投資に加えて、為替取引の対象通貨を選択できるように設計された投資信託です。なお、各ファンドの実質的な投資対象資産は欧州のハイイールド債です。

〔各ファンドにおけるイメージ図〕



* 取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

* 各ファンドは、実際の運用においてはファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

* ユーロコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。円コースでは、対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

- 各ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



収益を得られるケース	債券価格の上昇	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生	為替差益の発生
<ul style="list-style-type: none"> 金利の低下 発行体の信用状況の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 金利の上昇 発行体の信用状況の悪化 	<ul style="list-style-type: none"> 取引対象通貨の短期金利 > ユーロの短期金利 	<ul style="list-style-type: none"> 円に対して取引対象通貨高 円に対してユーロ高 (ユーロコースの場合)
損失やコストが発生するケース	<ul style="list-style-type: none"> 債券価格の下落 	<ul style="list-style-type: none"> コスト(金利差相当分の費用)の発生 	<ul style="list-style-type: none"> 為替差損の発生
	<ul style="list-style-type: none"> 円に対して取引対象通貨安 円に対してユーロ安 (ユーロコースの場合) 	<ul style="list-style-type: none"> 取引対象通貨の短期金利 < ユーロの短期金利 	<ul style="list-style-type: none"> 為替差益の発生
		ユーロコースを除きます ¹ 。	*円コースを除きます* ² 。

※1 ユーロコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※2 円コースでは、原則として対円での為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける可能性があります。

* 一部の取引対象通貨については、NDF取引を用いて為替取引を行います。NDF取引による価格は需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から想定される為替取引の価格と大きく乖離し、当該金利差から想定される期待収益性と運用成果が大きく異なる場合があります。

* 市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

〔収益分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

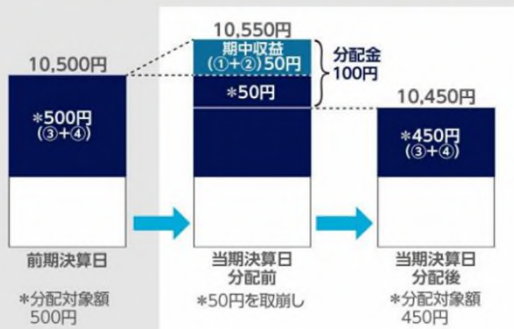
【投資信託で分配金が支払われるイメージ】



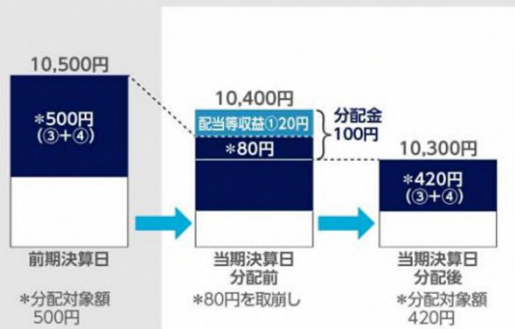
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

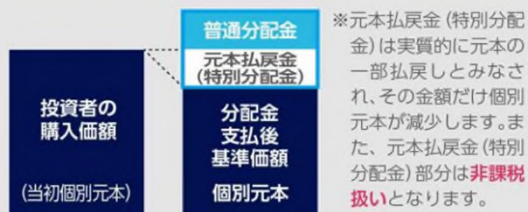


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

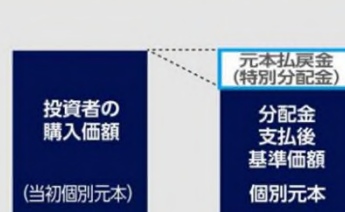
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

＜当資料で使用したデータについて＞

ICEの各インデックスは、ICE Data Indices, LLC又はその関係会社（「ICE Data」）のサービスマーク／商標であり、各インデックスとともに、各ファンドに関連して、ライセンスによる使用のためにライセンスされています。ライセンス、各ファンドのいずれも、ICE Dataが後援、推薦、販売又は販売促進をするものではありません。ICE Dataは、有価証券全般への投資若しくは特に各ファンドへの投資、又はインデックスの全般的な株式市場のパフォーマンスを追跡する能力の妥当性について、一切保証を行いません。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、明示又は黙示の一切の保証を行うものではなく、明示的に、インデックス、インデックス値及びインデックスに含まれるデータについて、商品性及び特定の目的への適合性の保証を否認します。如何なる場合においても、ICE Dataは、特別損害、懲罰的損害、直接損害、間接損害又は結果的損害（逸失利益を含みます。）の賠償責任を負わず、それらの損害の可能性を通知されていた場合であっても同様とします。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	ユーロネクストの休業日、フランスの祝休日、ルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに該当する場合、または12月24日である場合には、受け付けません。
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。
換金制限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。
信託期間	「ユーロコース」、「ブラジルリアルコース」、「資源国通貨コース」、「円コース」 2011年1月31日（設定日）から2026年4月8日までとします。 「豪ドルコース」、「トルコリラコース」 2011年10月27日（設定日）から2026年4月8日までとします。 「米ドルコース」、「メキシコペソコース」 2014年1月14日（設定日）から2026年4月8日までとします。
決算日	年12回決算、原則毎月8日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年12回。原則として毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。
スイッチング	販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行う場合があります。スイッチングの際には、購入時および換金時と同様に、費用・税金がかかる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.3% (税込3.0%) です。詳しくは販売会社にお問合せください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.1% を乗じて得た金額とします。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	実質的な負担の上限：純資産総額に対して 年率1.781% (税込) * ※各ファンドの信託報酬年率1.111% (税込) に投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの (年率0.67%) を加算しております。各ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。 ◆上記の運用管理費用 (信託報酬) は有価証券届出書作成日現在のものです。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用 (監査費用、目録見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税 (年率0.01%) などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

◆各ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第350号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	株式会社 りそな銀行
販売会社	販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する照会先	委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン：050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス： https://www.amundi.co.jp/

(2022年6月30日現在)

販売会社一覧 (業態別・五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第7号	○			○	
株式会社 埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第593号	○			○	
株式会社 新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社) (※1)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○			○	
株式会社 りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第3号	○		○	○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第370号	○				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○			○	○
auカブコム証券株式会社 (※2)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○		○	○	○
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第188号	○				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○			○	○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商) 第75号	○				
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第142号	○		○	○	○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第21号	○		○		
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1977号	○				
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長 (金商) 第24号	○				
マネックス証券株式会社 (※1)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○		○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○		○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商) 第8号	○				

(※1) ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、メキシコペソコース、トルコリラコースのお取扱いとなります。

(※2) 米ドルコース、豪ドルコース、トルコリラコースのお取扱いとなります。

(以下の販売会社は換金のみのお取扱いとなります)

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 あおぞら銀行 (※3)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第8号	○			○	

(※3) ユーロコース、円コースのお取扱いとなります。